



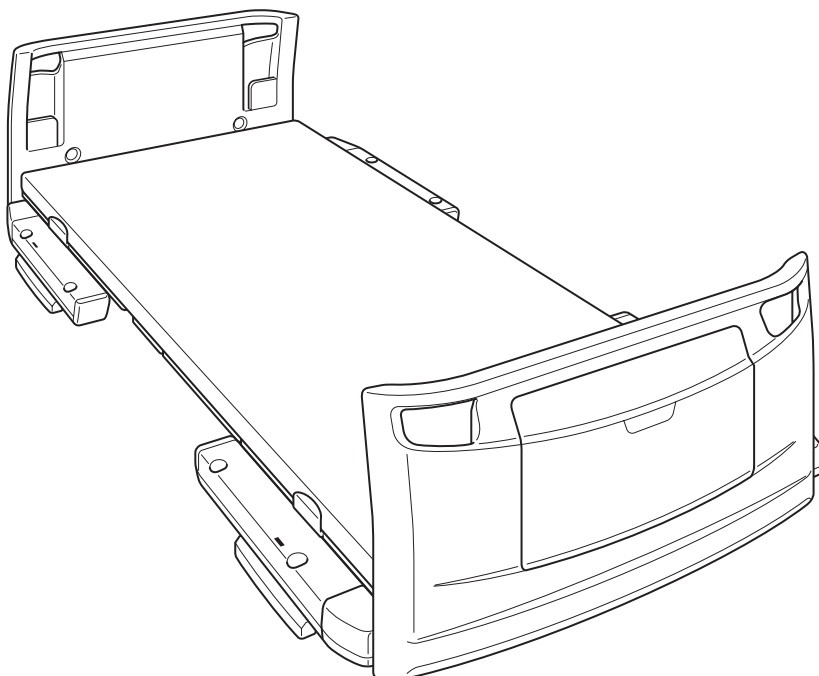
PARAMOUNT BED

在宅ケアベッド

楽匠Zシリーズ

楽匠 Z

らくしょう Zシリーズ



※イラストは別売のマットレスを取付けた状態です。

パラマウントベッド株式会社

取扱説明書

保証書別添

まえがき

このたびは、在宅ケアベッド楽匠Zシリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この「取扱説明書」には、ベッドを安全にお使いいただくための注意事項と使用方法などを記載しています。

- ベッドをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- ベッドで療養する方ばかりでなく、介護する方もこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除きこの「取扱説明書」では、表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。
- このベッドは日本国内専用です。海外では電源電圧が異なるため使用できません。

7F09701100A5

13 緊急時のベッド操作のしかた

災害などによる停電時、ベッドの故障などの緊急時に、背ボトムがさげられなくなった場合は、以下の方法で背ボトムをさげることができます。



停電以外の理由で背ボトムがさげられなくなった場合は、「**12** 故障かな?と思ったら」(54・55ページ)に従ってチェックを行い、ベッドが故障している場合には、販売店またはパラテクノコールセンター(126ページ参照)までご連絡ください。

注意

手動による背さげのしかた/戻しかたの作業は、2人以上で行ってください。手や腕などをはさまれて、けがをするおそれがあります。

1. 手動による背さげのしかた/戻しかた

背さげのしかた

- ① ベッドの電源プラグを、コンセントから抜いてください。
- ② ベッドをご使用の方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。
- ③ ヘッドボードを取外してください。(110ページ参照)
- ④ 背ボトムと背あげリンクを支えてください。

使用する工具

ペンチ・プライヤー(小)



注意

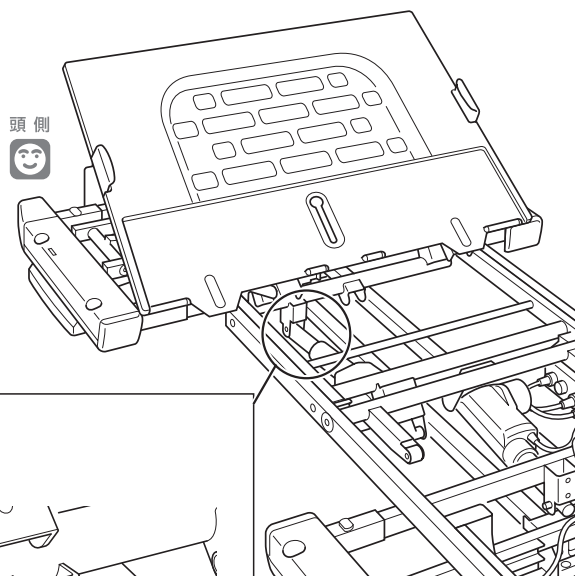
手動による背さげのしかた/戻しかたの作業は、背あげリンクをしっかり持ってください。背あげリンクがさがり、けがをするおそれがあります。

13 緊急時のベッド操作のしかた

- ⑤ 背アクチュエーター先端の連結ピンについているスナップピン(赤)を取外してください。
- ⑥ 連結ピンを取外してください。連結ピンを取外すと、背あげリンクが自由に動くようになります。

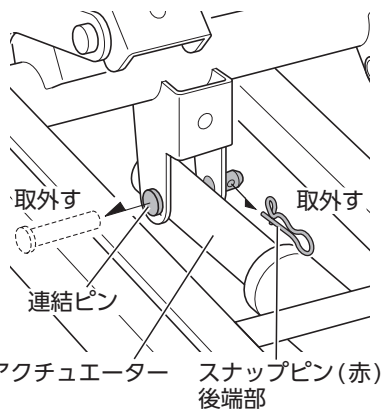
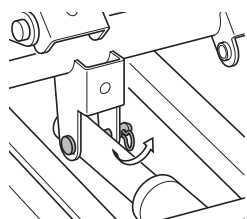


取外した連結ピンは、元の状態に戻すときに使用しますので、紛失しないように保管してください。



スナップピンの抜きかた

- スナップピン(赤)を、図の方向にひねり、そのままスナップピン(赤)の後端部を押して、ピンを抜いてください。
※ペンチで先端部をはさんで引っかけて作業を行うと、取外しが容易です。

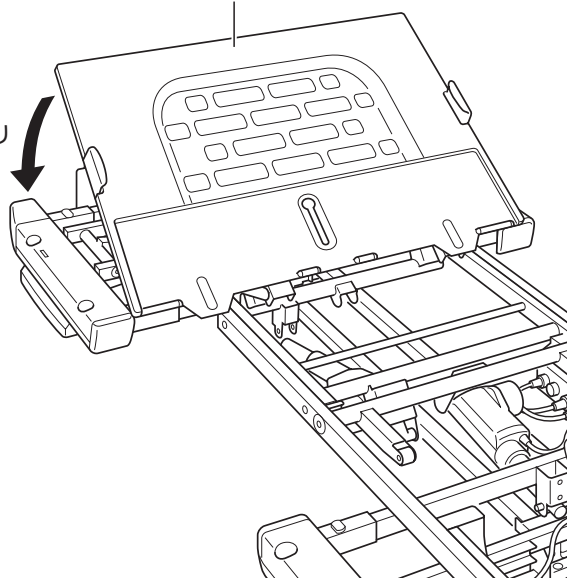


※作業をわかりやすくするために、膝・足ボトムは省略したイラストになっています。

- ⑦ 背あげリンクを降ろしてから、背ボトムをゆっくり降ろしてください。

背ボトム

ゆっくり降ろす



- ⑧ ヘッドボードを取付けてください。(100ページ参照)



この作業を行ったときは、停電や故障から復帰後、元の状態に戻すまで、電源プラグはコンセントから抜いたままにしておいてください。

戻しかた

停電時は、電源の復帰後、以下の手順でベッドを元の状態に戻し、**【4 組立後の点検】**(101～108ページ参照)に従って点検を行ってください。

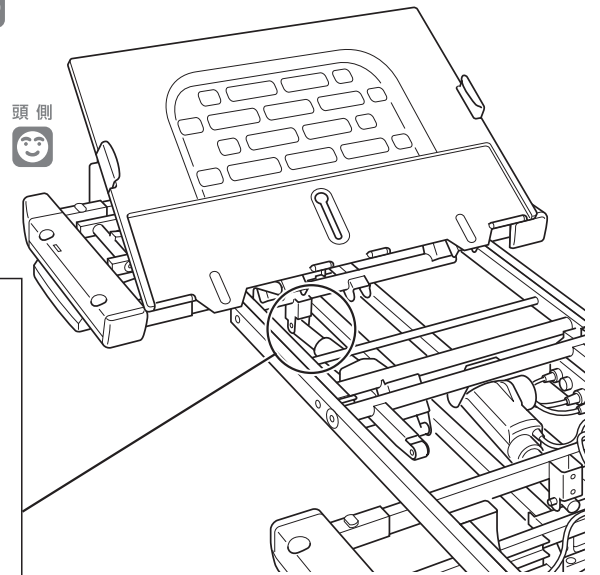
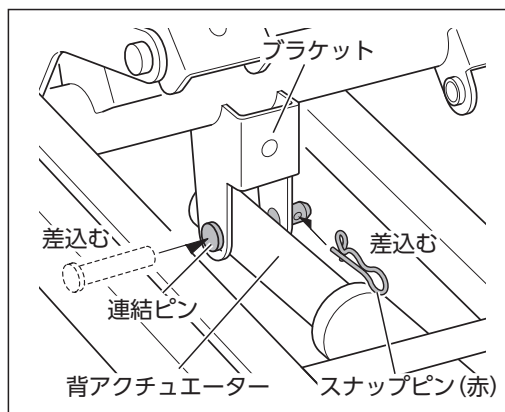
- ① ベッドをご使用の方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。
- ② ヘッドボードを取外してください。(110ページ参照)
- ③ 背ボトムと背あげリンクを持ちあげて、支えてください。
- ④ 背アクチュエーターを持ち、先端の穴とブラケットの穴の位置をあわせ、連結ピンを差込んで、スナップピン(赤)で固定してください。



連結ピンは、手動で背さげしたときに取外したものを使用してください。

ちゅうい
注意

スナップピン(赤)は、再利用しないでください。ベッドが破損してけがをするおそれがあります。新しいスナップピン(赤)は、販売店またはパラテクノコールセンター(126ページ参照)までご依頼ください。



※作業をわかりやすくするために、膝・足ボトムは省略したイラストになっています。

- ⑤ ベッドの電源プラグをコンセントに差込んでください。
- ⑥ 手元スイッチを操作して、背ボトムを一番下までさげてください。
- ⑦ ヘッドボードを取付けてください。(100ページ参照)

13 緊急時のベッド操作のしかた

2. スマートハンドルによるベッド操作のしかた

注意

ハンドル操作時は、ベッドの電源プラグがコンセントから抜けていることを確認してください。ハンドル操作中に誤ってベッドの手元スイッチの操作ボタンが押されると、ベッドが故障するおそれがあります。

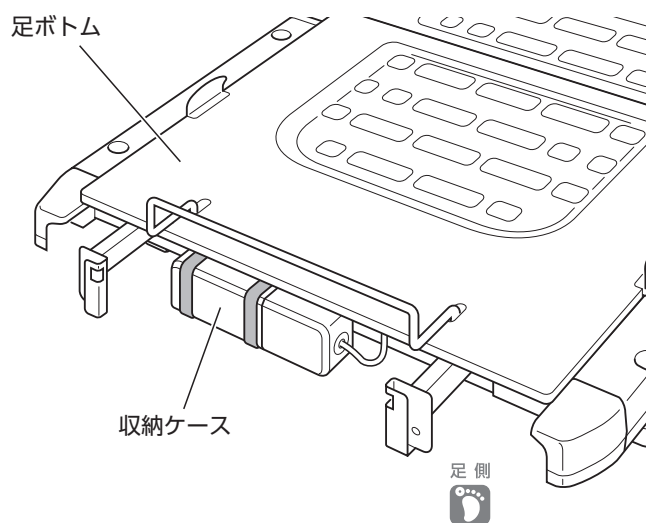


- スマートハンドル付のベッド (KQ-7***S) またはオプション品 (KQ-P70S) を取付けたベッドのみ操作可能です。
- スマートハンドルで「背あげ/背さげ」「膝あげ/膝さげ」「高さ(頭側)さげ」の操作を行うことができます。
- スマートハンドルの収納ケース内に、スマートハンドルの取扱説明書が同梱されています。そちらもあわせてご覧ください。

1. ハンドルの使用準備

1. ハンドルの収納位置について

ハンドルは収納ケースに入っています。
収納ケースは、ベッド足側の足ボトムの下に取付けられています。



※イラストはフットボードを外した状態です。

2. ハンドルの取出しかた

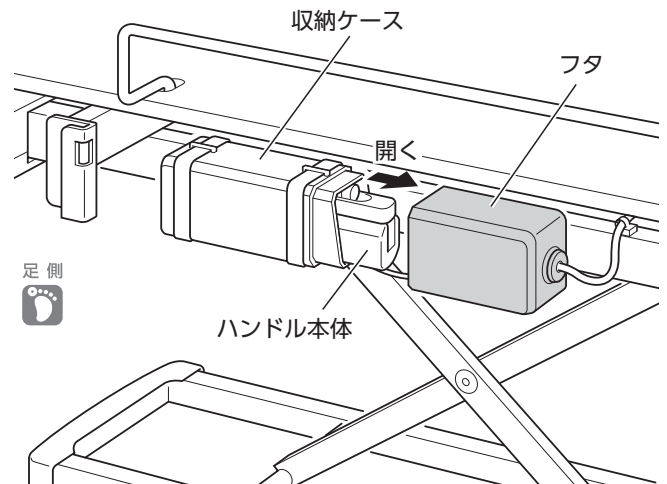


手元が暗い場合は、明かり（懐中電灯など）を使用して作業環境を整えてください。

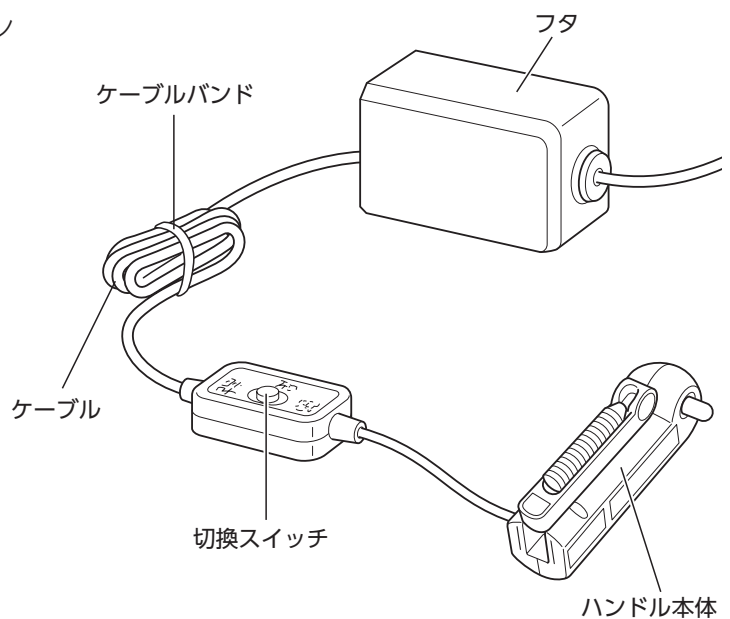
- ① ベッドの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ② ベッドのフットボードを取外してください。（110ページ参照）
- ③ 収納ケースのフタを矢印の方向に開け、収納ケースからハンドル本体、フタからケーブルと切換スイッチを取出してください。

注意

収納ケースのフタを開けるときは、ゆっくりと開けてください。勢いよく開けると、収納ケースの中のハンドルが落下してゆかを傷つけたり、ハンドルが破損・変形したりするおそれがあります。



- ④ ハンドルのケーブルを束ねているケーブルバンドを外してください。

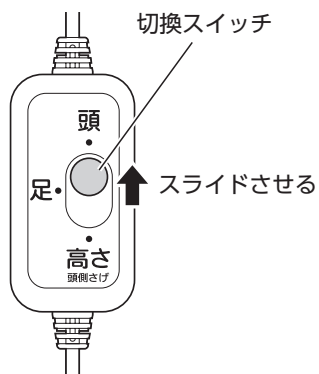


13 緊急時のベッド操作のしかた

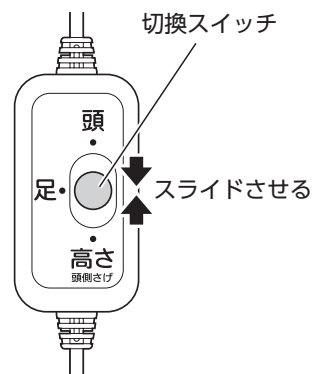
2. 操作のしかた

- ① 切換スイッチを操作したい位置にスライドさせてください。

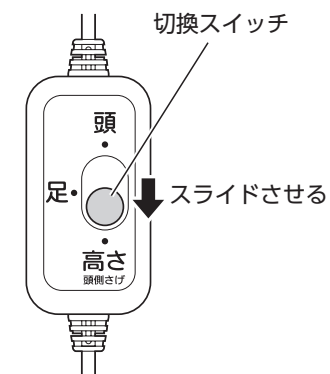
背あげ/背さげ



膝あげ/膝さげ

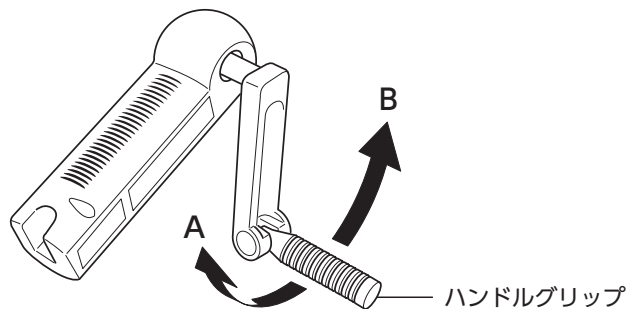


高さ(頭側)さげ



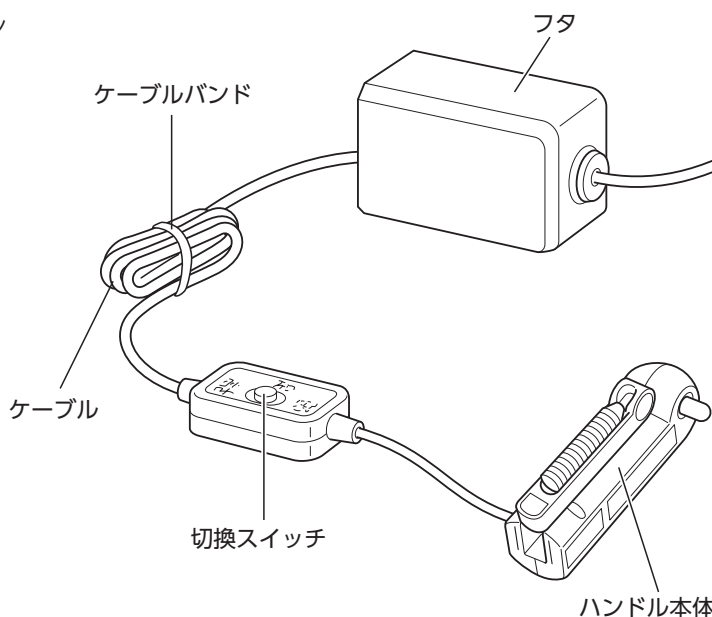
- ② ハンドルグリップを回すとベッドが動きます。

	ハンドルグリップを回す方向	
	A	B
頭	背があがる	背がさがる
足	膝があがる	膝がさがる
高さ	—	高さ(頭側)がさがる

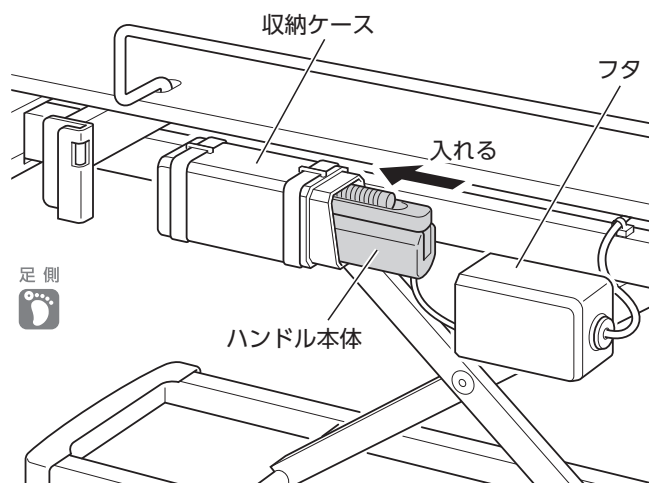


3. ハンドルの収納

- ① ハンドルのケーブルを、図のようにケーブルバンドで束ねてください。



- ② ハンドル本体を収納ケースに入れ、フタに束ねたケーブルと切換スイッチを入れてください。



- ③ 収納ケースのフタを矢印の方向に閉めてください。

注意

ハンドル収納後は、収納ケースのフタが確実に閉まっていることを確認してください。ハンドルが落下してゆかを傷つけたり、ハンドルが破損・変形したりするおそれがあります。

- ④ フットボードを取付けてください。(100ページ参照)

